

1: 園の教育方針

学校教育法によって幼児を保育し、適切な環境をあたえて生活経験を豊かに総合的に指導し、心身ともに調和のとれた自主的、創造性豊かな発達を助長する事を目的とします。

2: 教育目標

- ・ 親切そして思いやりのある子ども
- ・ 心身ともに健康で明るい子ども
- ・ 考え感じたことを素直に表現できる子ども
- ・ くじけず最後までやりぬく子ども

社会生活において必要となる「生きる力」の芽生えと育みを大切にし、目標となる子どもの像を見据えた教育を目指していきます。

3: 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己点検、自己評価を実施することによって、教員自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいく。

4: 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教員の資質向上に向けた取り組み	教員の教育スキル・育成スキルアップに向け、各種研修会・研究会に積極的に参加し、学んだことを職員会議で提供し合い、学ぶべき知識やテクニックを共有していった。
教育保育内容の質を高める	教職員全体がチームとして機能していくために、積極的に意見交換を行うとともに、互いの保育を見合うことにより、保育・教育方法の指摘やアドバイスしあえる環境ができていた。また研修会などで得た情報を積極的に保育で実践していき、経過や結果を考察しあいながら、より良い保育に繋げるよう取り組んだ。
施設的环境整備	施設の設備、設置物、遊具等の状況・整備状況のチェックを行い、安全基準に達しているかの確認を適宜実施した。それらに確認できた欠陥や破損箇所はすみやかに修繕し回復に努めた。
安全管理体制の強化	年間を通した災害訓練、防犯訓練計画を構成し実施。訓練実施後には対応手順や避難経路等の評価・反省を行い、今後の防災防犯体制強化に繋げた。また園児たちにとっても、避難訓練を通して、生命を守ることの大切さを学び、防災意識を高めることにもつながっている。
保護者ニーズの把握及び支援対策	保護者との懇談を定期的を実施し、出された意見に対して、必要なものについては、園の考え方を示し、改善すべきものは考察・検討を重ね改善していった。ホームページ内にて日々の保育風景や内容をアップし、それらを在園児や未就園児保護者にも情報を発信していくことで、新たな意見要望等を回収することができた。

5: 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組みべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し取り組み状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実施する基礎となった。施設・設備面では環境整備に力を入れており、教育サービスにおいても安心、安全に教育を展開できる環境になるよう努力しており、概ね目標を達成できた。

6: 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
安全管理体制のさらなる充実	各種避難訓練を継続して実施するとともに、自治体や地域の警察消防機関と連携を図り、防災・防犯教室等も積極的に取り入れ実施する。また緊急時における連絡網について、一斉メール配信及び状況把握できる体制を構築すべきとの意見もあり、早急に対応する方向で進める。
幼稚園情報の発信	在園児の保護者、地域における子育て世帯に向け、幼稚園の保育内容を今後も継続してブログ等で日々の保育活動を公開することで、保育の見える化を目指していく。
子育て支援の充実化	子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。
保育計画	前年度の保育計画をベースにしながら、把握する個々の成長・発達状況について、職員間で情報共有及び具体的な計画への話し合いを活発にしていきたいと考える。

7: 学校関係者の評価

関係者による評価は法人役員による委員会を実施している。委員会の委員に参観、運動会、生活発表会など様々な保育場面を見て頂くようにし、それを大切な評価観点とするようにしていく。委員会では、創立当初より大切にしている子どもの生活のリズムの確立と保護者が育つことの両方が現在も行われていることを評価して頂き、今後も子どもの視点を大切に保育していくようこの意見を頂いた。

8: 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。